

### 表紙のことば

#### 「木の花／桐」

温室効果ガスの排出を抑え、地球温暖化を防止することは、そこに暮らす生き物に共通の課題です。低炭素社会を実現し美しい環境を次世代につないでいく象徴として「木の花」を選びました。表紙の花は桐です。淡いピンクの美しい花を咲かせる桐は、翼の付いた種子を産み、高い発芽率で広く拡散していきます。

新村則人





日本初のエマルジョンインク  
「RISOインク」



家庭用簡易印刷機  
「プリントゴッコ」



2色同時印刷／自動両面印刷が可能な  
デジタル孔版印刷機  
「リソグラフME935W」



孔版技術を使った謄写版  
「RISOグラフ」



製版機と印刷機が一体となった  
「リソグラフ007」



インクジェット方式による  
高速カラープリンター  
「オルフィスEX9050」

# 進化を続ける理想製品

戦後まもなく、謄写印刷業として創業した理想科学は、1954年に日本初のエマルジョンインクを開発。以来、印刷機器メーカーとして、「世界に類のないものを創る」を開発ポリシーに、独自技術を活かした数々のユニークな製品を生み出してまいりました。これからもペーパーコミュニケーションの新たな領域を切り拓きます。

## 編集方針

理想科学は2004年に「環境報告書」を発行し、以降、当社の環境保全活動についてご報告してまいりました。2006年からはタイトルを「環境経営報告書」と変更し、環境や社会とのかかわりが経営にどのように反映されているかを、わかりやすくお伝えしています。

本冊子版では2013年度に行った活動成果を中心に簡潔にまとめることで、理解しやすい報告をめざしました。例年と同様に、読みやすさ、わかりやすさへの配慮から、カラーユニバーサルデザインを取り入れて制作いたしました。本冊子版では掲載できなかった情報および過去から掲載している情報については、Webサイト (<http://www.riso.co.jp/>) で紹介しています。当社の事業活動を報告するためのより詳細なデータ「データブック」もWebサイトに掲載しています。

◎Webサイト掲載情報については、P.25をご覧ください。

## ●報告対象範囲

国内については、理想科学工業株式会社および理想沖繩株式会社の子会社全事業所ならびに全営業拠点を報告の対象範囲としています。海外については、理想科学グループの生産拠点を環境負荷データの対象範囲とし、非生産事業所の電力、燃料(社有車燃料を含む)、水の使用量についても一部対象範囲としています。なお、データ集計範囲が異なる場合があります。各データに記載の集計範囲をご覧ください。

## ●報告対象期間

2013年4月1日から2014年3月31日まで。ただし、この期間以前もしくは以降の活動内容も一部含まれます。

## ●発行年月

2014年7月 ※次回発行は2015年7月を予定しています。

## ●参考としたガイドライン

- 「GRIサステナビリティ・レポート・ガイドライン2006」
- 「環境省環境報告ガイドライン2012年版」

## ●期間中の主な変化

- 2013年6月に、新たな開発拠点となる「理想開発センター」が開所しました。
- 2013年12月に、ウクライナに販売子会社を設立しました。
- 2014年1月に、高速カラープリンター「オルフィスEXシリーズ」が省エネ大賞を受賞しました。

## C O N T E N T S

編集方針	1
ごあいさつ	3
理想科学の環境方針／環境への取り組み姿勢	4
理想科学について	5
会社概要	
事業拠点一覧	
会社データ	
主な製品	

特集1	
高速印刷と環境負荷の低減を両立	7
特集2	
使用済み製品の再資源化を追求	11
特集3	
シルクスクリーン印刷に革新を	15

環境への取り組み2013	17
--------------	----

社会とのかかわり2013	19
--------------	----

海外での取り組み2013	22
--------------	----

マネジメント	23
--------	----

環境マネジメント	24
----------	----

Webサイト掲載情報について	25
----------------	----

第三者審査報告書	26
----------	----



代表取締役社長  
**羽山 明**

平素は当社事業にご理解・ご支援を賜りありがとうございます。[環境経営報告書 2014]をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

理想科学は、「美しい健全な環境を次世代に引き継ぐために地球的規模での環境保全に貢献する」ことを「理想環境憲章」に掲げ、環境負荷の低減に向けた活動を推進しております。

当社がメーカーとして、製品の開発・生産・販売活動を進めていく過程で、そしてお客様が当社の製品をご活用いただく過程でなんらかの地球資源が消費され、またさまざまな廃棄物が生まれています。このことを十分に認識して、利便性の向上と環境負荷の低減を両立できるような製品やサービスを創出し、お客様にご提供し続けることがわれわれの責務であると考えております。

さて、当社が平成25(2013)年から発売する高速カラープリンター「ORPHIS EXシリーズ」は、この度「平成25年度省エネ大賞」省エネルギーセンター会長賞を受賞いたしました。

「ORPHIS EXシリーズ」は経済性と生産性を備え、低コストで高速にプリントするフルカラープリンターです。省電力性能を向上することで、従来の機種に比べさらに環境負荷を低減いたしました。

当社の製品と企業姿勢をご評価いただきましたが、今後ともお客様のニーズを満たす魅力的な製品、より環境負荷の低い製品開発に努めてまいります。

本報告書は、当社の環境への取り組みやお客様をはじめとするステークホルダーの皆様との社会的なかかわり、そして健全な企業活動の礎であるコンプライアンスやコーポレートガバナンスについて説明しています。ぜひご一読いただき率直なご意見を寄せさせていただきますようお願い申し上げます。

2014年7月

**理想科学の環境方針**

環境への取り組み姿勢を明確に示した「理想環境憲章」ならびに「環境行動指針」を制定し、理想科学は、全社を挙げて環境保全活動を推進しています。

**理想環境憲章**

理想科学工業株式会社は、優れた製品の開発を通して社会に貢献することを基本理念とし、加えて地球社会の一員であることを深く認識し、美しい健全な環境を次世代に引き継ぐために地球的規模での環境保全に貢献するよう努めます。

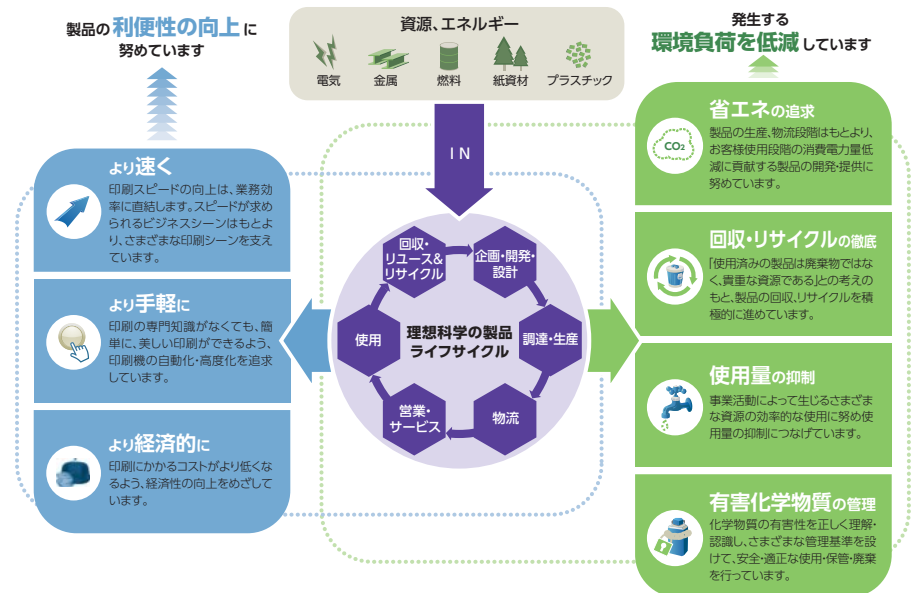
**環境行動指針**

- 1. 環境に配慮した製品の開発**  
製品の開発・設計の段階から生産、流通、使用、リサイクル、廃棄などの各段階を考慮し、トータルでの環境負荷を低減するよう方針を策定し、実行する。
- 2. 省資源、省エネルギー**  
事業活動によって生じる環境への影響を調査、検討し、環境負荷を低減するよう、省資源、省エネルギーに努める。
- 3. 地域の環境保全**  
国、地方自治体などの環境規制等を遵守することにとどまらず、事故等の緊急事態に備えて汚染の可能性を検討し、予防する。
- 4. グローバルな視野での対応**  
海外事業活動および製品輸出に際しては、現地の環境に与える影響に配慮し、現地社会の要請に応えられるよう努める。
- 5. 継続的な改善**  
環境管理の組織、制度を整備し、環境目的・環境目標を設定して、継続的な改善活動を実施する。
- 6. 環境教育と情報公開**  
環境について全従業員が見識を深めることができるよう、当環境憲章および行動指針を元に適切な教育や広報活動をおこなうと同時に、環境活動状況を積極的に一般公開し、社会との連携により一層の環境負荷の低減に努める。

平成10年8月28日制定  
平成19年4月1日改定  
代表取締役社長 羽山 明

**環境への取り組み姿勢**

製品の「利便性向上」と「環境負荷低減」の両立を追求しています。



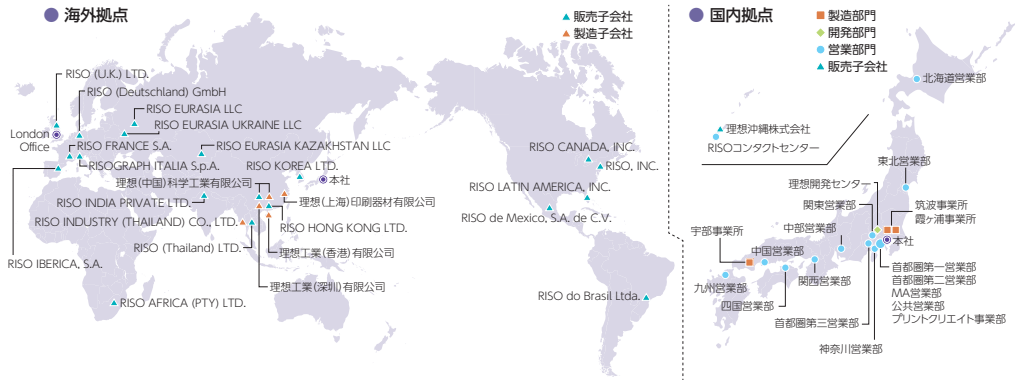
## 独自のプリントソリューションを世界の皆様へ

理想科学は、生産・販売のグローバルネットワークを構築。世界180以上の国や地域で、高性能インクジェット技術・デジタル孔版印刷技術を通じて、お客様満足を目指しています。

### 会社概要 (2014年3月31日現在)

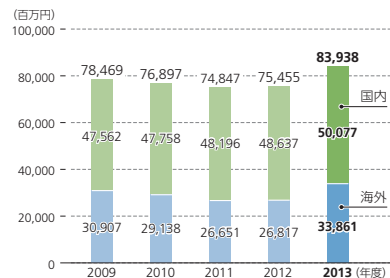
社名	理想科学工業株式会社 (RISO KAGAKU CORPORATION)	資本金	14,114百万円
創業	1946年(昭和21年)9月2日	連結業績	売上高 839億3千8百万円 当期純利益 45億7千8百万円 (平成26年3月期)
会社設立	1955年(昭和30年)1月25日	従業員数	3,594名(グループ全体)
本社	東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル	連結子会社	26社(国内2社、海外24社)

### 事業拠点一覧 (2014年3月31日現在)

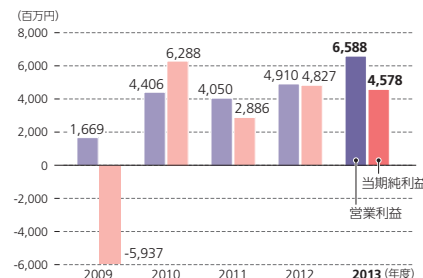


### 会社データ (記載金額は表示金額未満を切り捨てて表示しています。)

#### ● 売上高(連結)



#### ● 営業利益/当期純利益(連結)



### 主な製品

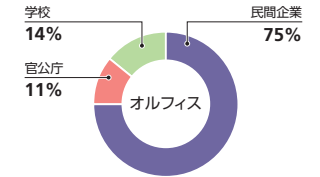
#### 高速カラープリンター 「オフィス」

関連記事P.7▶

多枚数のカラードキュメントを高速かつ低ランニングコストでプリントできる、ビジネス用途のインクジェットプリンターです。



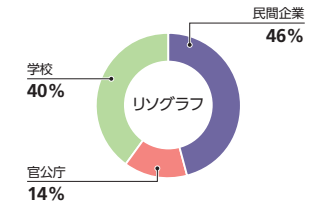
#### ● 国内(日本)マーケット別構成比(2013年度)



#### デジタル印刷機 「リングラフ」

関連記事P.11▶

孔版印刷の原理に理想科学独自の技術を融合させた高速デジタル印刷機です。1原稿当たりの出力枚数が増えるほどプリント単価が下がります。

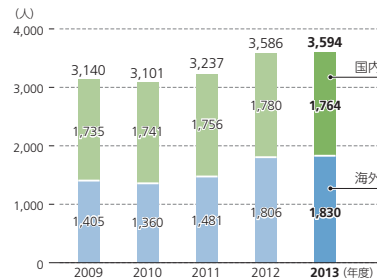


#### デジタルスクリーン製版機 「ゴッコプロ」 関連記事P.15▶

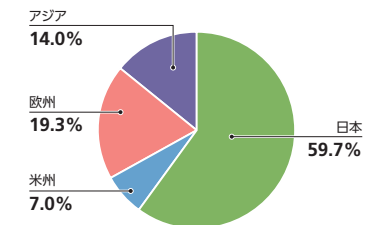
水や薬品を使用しない「完全ドライ製版方式」のデジタルスクリーン製版機。プリンター感覚で、手軽に高解像度・高精度なスクリーンを製版できます。



#### ● 年度末従業員数(グループ全体)



#### ● 地域別売上高比率(2013年度)



# Q Question

10年連続世界最速\*を実現した「オルフィス」。  
ハイスピード・多機能プリンター  
でありながら省エネ・省資源を  
実現できるのはどうして？

\*2003年 [HC5000]: 毎分最高105枚、2005年 [HC5500シリーズ]: 毎分最高120枚、2009年 [Xシリーズ]および2013年 [EXシリーズ]: 毎分最高150枚、2014年1月現在販売の枚葉(カット紙) オフィス用カラープリンターにおいて、「オルフィスEX9050/EX9000」のプリント速度150枚/分(A4普通紙片面横送り、標準設定連続プリント、EXフェイスダウン排紙トレイ使用時)が世界最速(当社調べ)。



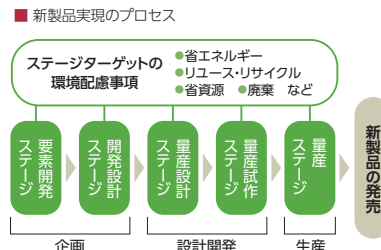
## 特集1 | 高速印刷と環境負荷の低減を両立

# A Answer

“世界に類のないものを創る”という  
開発ポリシーと環境へ配慮した  
ものづくりを行う基盤があるからです。

### 「世界に類のないものを創る」を開発ポリシーとして

理想科学は、「世界に類のないものを創る」という開発ポリシーのもと、製品の環境性能についても、たえず革新を図っています。新製品の開発において、企画から生産までの各ステージでクリアすべき環境配慮項目をターゲットとして設定。ステージターゲットを達成した製品のみが、市場へ提供されています。



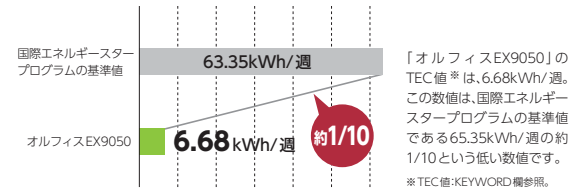
\*次のステージに進む際には移行判定会議を行っています。

## 「オルフィスEX」に込めた環境への想いが、「省エネ大賞」受賞という形で実を結びました。

省エネ大賞(主催:一般財団法人 省エネルギーセンター)は、国内の企業、工場・事業所等において省エネルギーを推進している事業者および省エネルギー性に優れた製品、ビジネスモデルを表彰する制度です。「オルフィスEXシリーズ」は、高い生産性と経済性を兼ね備え、低消費電力化、軽量薄紙への対応による環境負荷の低減を実現。さらに、豊富なオプションで企業内の多様化する内製化のニーズに応えることで、総合的な生産性を大幅に向上しました。これらの特長が認められ、平成25年度「省エネ大賞」を受賞しました。



### ■ TEC値の比較



### 製品開発と受賞に関わった 社員の声

「軽量薄紙の高速搬送は非常に難しい技術を要しましたが妥協せず開発にあたりました。」  
開発本部P&Dセンター OR事業開発部長 中山 幸治

「高速性能を保持しながらいかにして省電力化を図るかが課題でした。」  
開発本部P&Dセンター OR事業開発部リーダー 高田 淳

「高い環境性能だけでなく利便性も兼ね備えた魅力ある製品です。」  
環境活動推進部長 笠井 達也

「優れた省エネルギー性能が公に認められ、嬉しく思います。」  
環境活動推進部 環境活動推進二課 岡田 博之

### KEYWORD 「TEC値」とは？

プリンターの省エネ性能を表します。

TECは、「Typical Electricity Consumption」(標準的な消費電力)の頭文字を取った言葉。TEC値はオフィス機器の国際的な省エネ制度「国際エネルギースタープログラム」に適合するための基準となる値です。1週間のプリンター使用[稼働とスリープ/オフが繰り返される5日間+スリープ/オフ状態の2日間]を想定したときの総使用電力で表され、TECの基準値\*に比べ省エネ性能が高いと認められた製品が、ラベルを取得できます。

\*基準値は、その製品の印刷速度に基づき算出されます。



# 高速印刷と環境負荷の低減を両立した「オルフィスEX」のテクノロジー。

「オルフィスEX」に搭載されている省エネ・省資源に関わる技術をご紹介します。

## 「高速プリント+省エネ」を実現するキーテクノロジー「FORCEJET™」

「オルフィスEX」は、A3ワイド用紙の短辺を一度に印刷できるライン型インクジェット印字ヘッドを搭載。精密で高速な用紙搬送と高速印刷に対応した速乾度の高い独自開発のインクを掛け合わせた高速エンジンテクノロジー「FORCEJET」によって、最高150枚/分\*1のスピードで大量プリントが可能。しかも、ファーストプリントは5秒以下\*2。プリンターの使用時間が短く済むことで仕事効率アップと省エネに貢献します。



\*1: EX9050/EX9000の場合。A4普通紙片面横送り、標準設定連続プリント、EXフェイスダウン排紙トレイ使用時。EX7250/EX7200/EX7250Aの場合、最高120枚/分。  
\*2: プリント開始指示受信完了から排紙完了までの時間。A4普通紙片面横送り、給紙台、EXフェイスダウン排紙トレイ使用時。

## きめ細かな省エネ機能でエネルギーの効率使用を実現

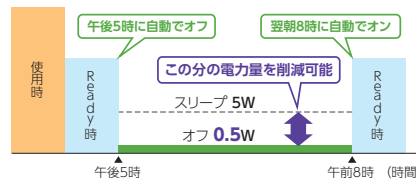
一定時間使用がない場合、自動で省電力モードに切り替わる「オートスリープ機能」を搭載。さらに、指定する曜日・時刻に0.5W以下に抑える「タイマー運転機能」を搭載し、きめ細かな省エネ機能でプリントしないときの無駄なエネルギー消費を防止します。



操作パネル上のタイマー運転ランプ/ウェイクアップキー

### ■ タイマー運転機能の効果

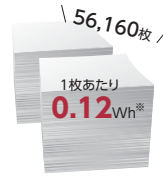
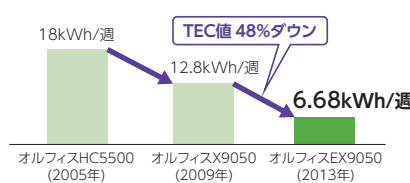
タイマー運転でさらに消費電力量を削減。<オフィスでの一例>



## プリント1枚当たりの消費電力量がトップクラス

「オルフィスEX」は、従来機種と比較しTEC値48%ダウンを達成。プリント1枚あたりの消費電力量はトップクラスです。

### ■ 「オルフィス」のTEC値の推移



\*オルフィスEX9050の1週間使用時の消費電力量(TEC値)をプリント1枚あたりに換算

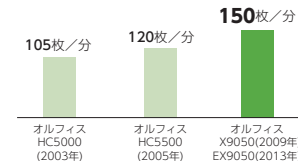
## TOPICS 「オルフィス」は10年連続世界最速

利便性の向上と環境負荷低減の両立を追求し続けてきました。

カラープリンター「オルフィス」は、多枚数のカラードキュメントの高速かつ低ランニングコストのプリントニーズに対応するため2003年に登場。以降、たえず、基本性能の向上と環境負荷低減の両立を追求し続け、発表時から2013年発売の「オルフィスEX」まで、10年連続世界最速の印刷速度を更新しながら、消費電力量の低減を実現してきました。



### ■ 機種別の印刷速度推移



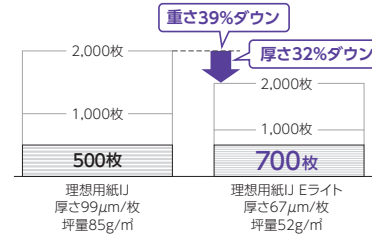
## 薄くて軽い用紙で資源を節約

「オルフィスEX」は、従来のプリンターでは扱うことが難しかった軽量薄紙の高速プリントに対応しました。軽量薄紙を使用することで、資源を節約するとともに、文書保管スペースの減少や重量の低減による物流の省エネ化にも貢献しています。



理想用紙 E-Light

### ■ 軽量薄紙と従来用紙の比較



## 各種環境ラベルや規制に対応

「オルフィスEX」は、省エネルギー設計やリサイクルへの対応など製品ライフサイクル全体を通して環境負荷の低減に関係する規制や基準に適合し、各種環境ラベルを取得しています。



グリーン購入適合

RoHS対応

## 軽量薄紙印刷に対応する独自のインクを開発

独自開発の高速両面プリントに対応した速乾度の高い油性顔料インクは、表面定着度を強化し、薄紙に対応しました。

### ■ 用紙へのインクの定着度(イメージ)



## 高速多枚数印刷を活かす多彩な拡張機能を装備

「オルフィスEX」の高速多枚数印刷の特長を活かし、さまざまなプリントニーズに応える拡張機能。印刷作業効率の向上とともに「必要な時に必要な枚数だけ」というオンデマンドプリントを可能とします。余分な印刷物を廃棄することが無くなり省資源に貢献します。



大容量排紙ユニット



メーリングフィニッシャー

## 資源の節約をサポートする各種機能を搭載

用紙やインクを無駄なくご利用いただくことで資源の節約をサポートする各種機能を備えています。

両面印刷機能

Nアップ面付け機能

ドラフト(インク節約)モード機能



くるみ製本フィニッシャー

# Q Question

空になったインクボトルや  
使用済み製品が回収された後は、  
どうなっているの？



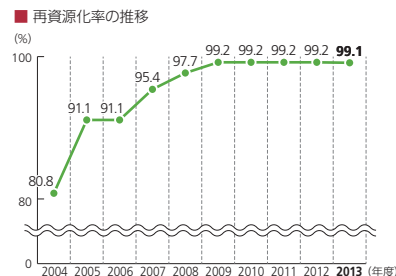
## 特集2 | 使用済み製品の 再資源化を追求

# A Answer

ごみとして廃棄する量をできるだけ  
少なくするために、さまざまな形で  
リユースやリサイクルを進めています。

### 再資源化率を限りなく100%に近付けるために

理想科学は、2004年より「再資源化率」の把握を開始しました。回収した使用済み製品（インクボトル、インクカートリッジ、印刷機）の徹底した分別と資源の有効活用を追求し続け、2009年以降は再資源化率99%以上を継続しています。



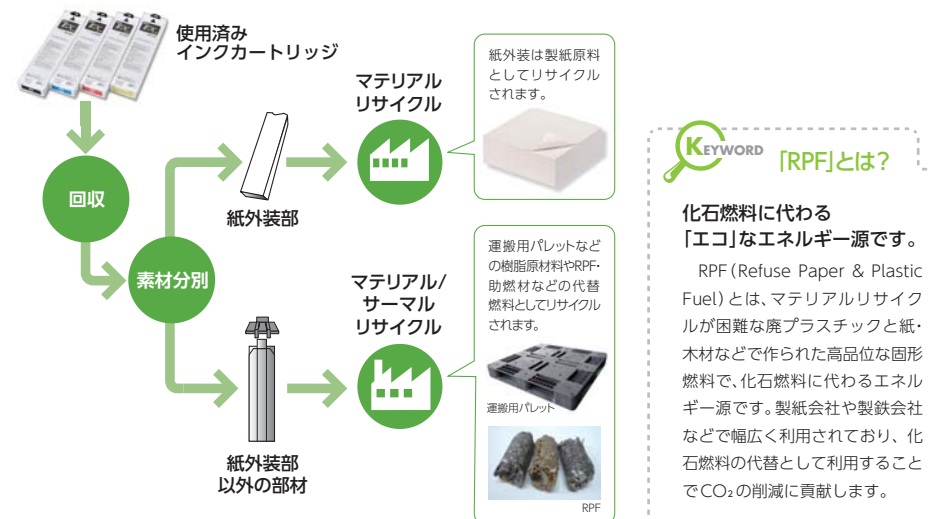
## 使用後のインクボトル・カートリッジは、 回収した後、原材料や燃料に姿を変えて、循環しています。

日本国内で使用済みとなったインクボトル・インクカートリッジを市場から回収し、マテリアル(原材料)リサイクルやサーマル(燃料)リサイクルにより資源の有効活用を図っています。

### インクボトルのリサイクルフロー



### インクカートリッジのリサイクルフロー





# 使用済みの「リソグラフ」は、貴重な資源。 部品や燃料などさまざまな形で 再使用・再資源化されています。

使用済みとなり回収された「リソグラフ」は、理想科学の品質基準に合格した部品を再使用し、リサイクル機として再び製品に生まれ変わります。  
新品機同様の出荷基準をクリアしたものがお客様のもとに届けられます。  
リユースできない部品は原材料や燃料へと再資源化されています。

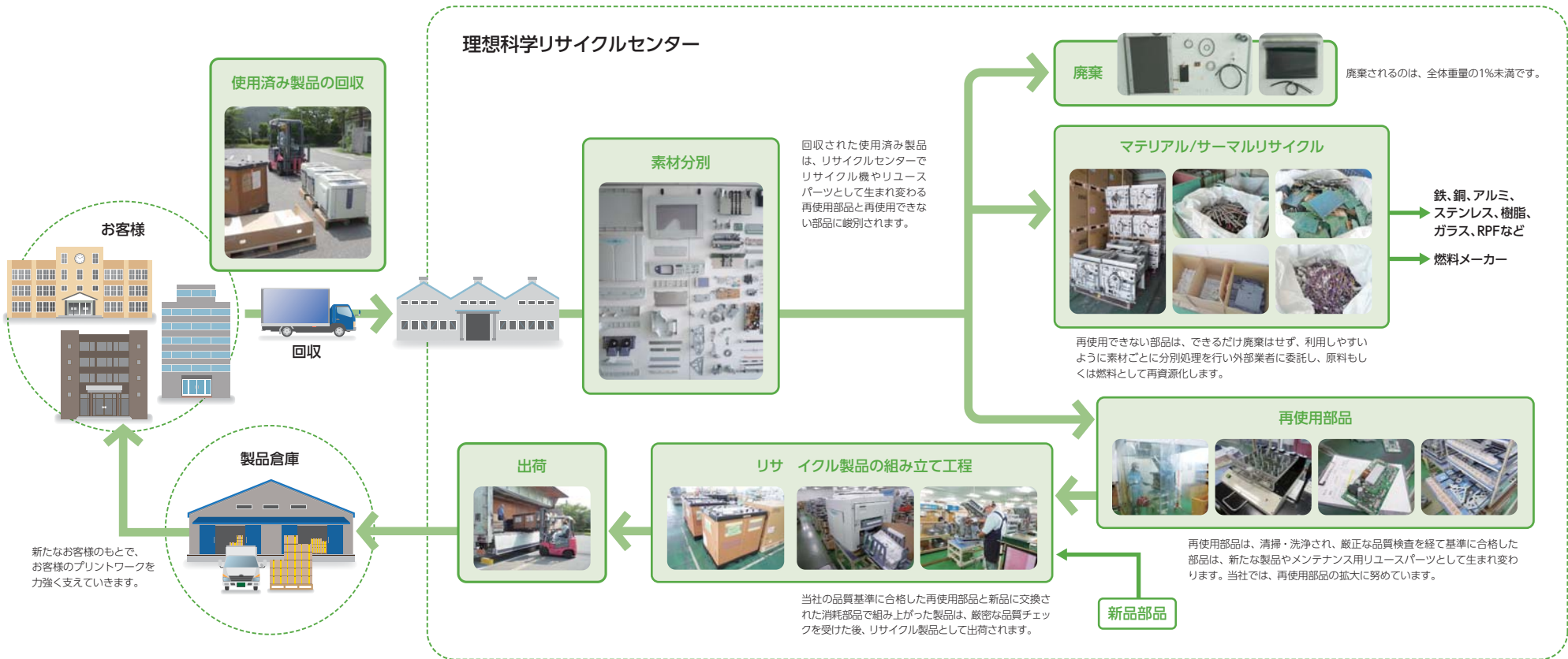
## 担当者の声 製品からの廃棄物ゼロをめざして

理想科学のリサイクル活動は、使用済みインクボトルの回収を開始した22年前にさかのぼります。以来、消耗品のリサイクルフローを確立するとともに、1998年には、リサイクルセンターを設立し、印刷機本体のリサイクルを開始しました。印刷機の構成部品は多数で、リユース・再資源化の分別は非常に緻密な工程になりますが、この取り組みを地道に追求してきた結果が、再資源化率99%という誇らしい数字に結びついています。今後も製品リサイクルの取り組みを一層進化させ循環型社会形成に向け貢献していきたいと考えています。



環境活動推進部 環境活動推進一課 海部 龍一  
リサイクルセンター リサイクル製造課 松尾 一郎  
リサイクルセンター リサイクル企画課 湯原 耕一

### 「リソグラフ」(本体)のリサイクルフロー





# Q Question

シルクスクリーン製版の  
デジタル化を実現した「ゴッコプロ」。  
従来の乳剤版の工程との違いは？

特集3 |

## シルクスクリーン 印刷に革新を



# A Answer

排水が生じないクリーンな  
プロセスを実現するとともに、  
簡単、スピーディーな製版を実現しました。

### 海外でも好評を得ている「ゴッコプロ」

2014年2月に発売した「GOCCOPRO QS200」を、海外4か国の展示会に出展しました。製版可能領域が広く多色刷りの位置精度が向上した新製品は、海外のスクリーン印刷業者の皆様から、「手軽に製版でき、環境面でも素晴らしい」との評価をいただきました。



海外の展示会での様子



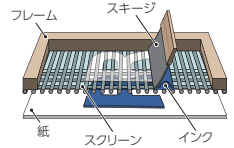
## 水を使用しない 「完全ドライ製版方式」が メリットをもたらします。

「ゴッコプロシリーズ」は、乳剤を使用しないため、洗浄の工程がなく排水が生じません。その上、コンパクトで、スピーディーな製版を実現しました。露光や乾燥などの工程が不要なので製版プロセスを大幅に短縮できます。

### KEYWORD 「シルクスクリーン印刷」とは？

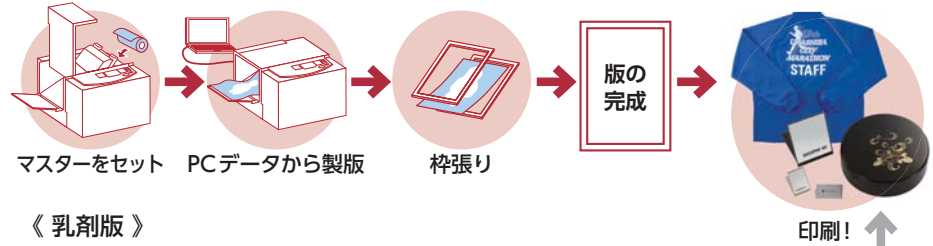
素材を問わず印刷できます。

シルクスクリーン印刷は孔版印刷の一つで、スクリーン上に、インクが通過する穴(孔)をあけ、その孔からインクを押し出して印刷する技法です。紙はもちろんガラス・プラスチック・合成樹脂・金属・布・ビニールなどさまざまな素材に印刷できます。



### デジタル製版と乳剤版の製版プロセスの違い

- 《デジタル製版》  
「ゴッコプロ100」の場合
- かんたん操作 ... パソコンのデータをダイレクトに製版。特殊なスキルは不要です。
  - 環境への配慮 ... 乳剤を使用しないため、洗浄工程がなく、排水を生じません。
  - スピード製版 ... 露光・乾燥などの工程がなく、プリンター感覚でスピーディーに製版。



### 《乳剤版》



### TOPICS お客様とのコミュニケーションスペース——[RISO STUDIO]

お客様に「ゴッコプロ」を使ったシルクスクリーン印刷を体験いただく、ワークショップを定期的開催。オリジナルデザインの商品を手軽につくれる楽しさを体感していただいています。



Web サイトでワークショップをご案内しています！  
<http://www.riso.co.jp/ps/>

# 環境への取り組み 2013

## 環境に配慮した製品をムダのない方法でお届けする

理想科学は、事業活動の全般を通じて、環境負荷の低減に努めています。製品の開発・設計、生産から、販売・物流まで、絶えず省エネ・省資源化に挑戦し続けます。

## 開発・生産拠点で

### 理想開発センターで 風力・太陽光発電装置が稼働しています

2013年に開所した理想開発センターで、風力発電機と太陽光パネルを組み合わせたハイブリッド式発電システムを導入しました。2種類の自然エネルギーを利用することで、気象条件による発電量の変動にも柔軟に対応できるシステムとなっています。



ハイブリッド式発電システム

### 宇部工場の緑のカーテンが表彰されました

宇部工場では、省エネ・地球温暖化防止に貢献する身近な取り組みとして、ゴーヤとアサガオを育てて緑のカーテンづくりを行っています。2013年は、管理棟の南側全面を2階まで覆う幅15m×高さ6.5mの緑のカーテンが完成し、宇部市の主催する「平成25年度緑のカーテンコンテスト」事業所部門で、優秀賞を獲得しました。



緑のカーテン

## 製品で

### 環境に配慮した製品を発売しました

乳剤製版方式とは違い、薬品や水を使わず製版工程の大幅短縮を実現するデジタルスクリーン製版機「GOCCOPRO QS200」を新発売しました。また、モノクロレーザープリンターの新機種「Prioa LP2100DN」は、従来機に比べTEC値\*を約23%低減しました。その他、夜間に蓄えた電力で日中の印刷を可能にする「RISO ピークシフト・プリント・システム」もご提案しています。



Prioa LP2100DN



GOCCOPRO QS200



RISO ピークシフト・プリント・システム

\*TEC値…概念的1週間(稼働とスリープ/オフが繰り返される5日間+スリープ/オフ状態の2日間)の消費電力。

### 宇部工場にも遮熱塗装屋根を採用しました

各生産拠点では、設備のエネルギー効率を高めるために、さまざまな設備投資を行っています。その一つが、太陽光の強い日差しによる、建物の表面温度上昇を抑える遮熱塗装の導入です。2012年の筑波工場に続き、2013年は宇部工場でも屋根に遮熱塗装を施し効果をあげています。



遮熱塗装された屋根

## 営業・サービス活動で

### 省資源と迅速な対応を心がけています

環境負荷の低い事業活動をめざしながら、お客様へのサービス向上に取り組んでいます。2013年は、お客様を訪問し、保守やデリバリーを行うフィールド業務においてスマートデバイスを活用した新システムの運用を開始しました。全国のカスタマーエンジニアが電子化されたマニュアルや技術資料、お客様のサービス情報についてもアクセスできるようになり、多くの紙資料を持ち歩く必要がなくなりました。また作業報告書のオンライン入力が可能となり、作業効率が向上するとともに紙の出力が削減でき、環境負荷低減につながっています。

その他、お客



スマートデバイスの活用



Webによる消耗品の注文画面

様からの注文の受付方法においても、省資源と迅速な対応を重視しています。従来まで電話やFAXが中心となっていたインク、マスター、用紙などの消耗品のWebによる注文受付を行っています。

さらに、社内業務では、環境負荷の低減に注力しWeb会議を積極的に活用し、社員の拠点間の移動・出張を抑えています。



Web会議

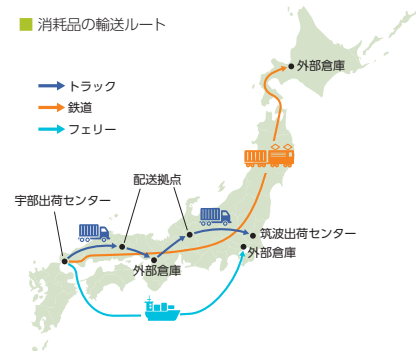
## 調達・物流で

### 消耗品の輸送ルート最適化をめざしています

環境への負荷がより小さく、なおかつ安定して商品をお届けできるトラック、フェリー、鉄道などによる「輸送手段・ルートのパストミックス」を追求しています。たとえば、宇部工場で生産された消耗品の各地への輸送は、東日本・北海道エリアの倉庫への定期的な長距離輸送にはフェリー・鉄道を使い、お客様からの注文分はトラックを使います。トラックでは運行ルートの各配送拠点で降ろした荷物の空きスペースに別の荷物(回収した空インクボトル・製品・部品など)を載せることで、積載効率を高め、環境負荷の低減を図っています。

#### 消耗品の輸送ルート

- トラック
- 鉄道
- フェリー



# 社会とのかかわり 2013

## 地域社会の一員として

社会への責任を果たすために、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをとりながら、さまざまな活動を行っています。



### お客様の満足のために

#### コンテストを通じて、技術レベルの向上に取り組んでいます

修理や保守点検に迅速に対応するだけでなくお客様の印刷環境をより良くするための提案を担うCE(カスタマーエンジニア)。理想科学は、お客様との信頼関係の構築に欠かせないCE育成のために、技術コンテスト「RISO Technical Competition」を開催しています。アメリカ、ヨーロッパ、アジア各国の予選を

勝ち抜いた精鋭を集めて世界大会(2年に1回)を開催し、グループ全体でのCEのレベルアップを図っています。2013年は11月に世界大会が開催され、技術力を競い合いました。



「RISO Technical Competition 2013」

#### お客様の声を品質改善に役立てています

営業担当者、CEなどがお客様からいただいたご意見を全社で共有し、商品やサービスの改善に結び付けています。2013年の取り組み事例としては、学校・官庁などの大規模なネット



ICカード認証

ワークで複数のユーザーが利用するプリンターを管理するソフトウェアの機能強化があります。

従来、高速カラープリンター「オルフィス」では、ICカードのシリアル情報で管理していましたが、お客様からのご要望に応え、学校・官庁などで導入されているユーザー管理システムと連携する新しいソフトウェアの提供を開始しました。

#### お客様の疑問に答えるサポート体制を強化しました

手軽に利用いただける重要なサポートツールとなっているWebサイトにおいて、お客様からの問い合わせの多いQ&Aを掲載した「よくあるご質問(FAQ)」に、新しい製品に関する情報を追加し、求める情報が探しやすいコンテンツへと改良しました。

お客様サポートを担うRISOコンタクトセンターでは「お客様と同じ環境下で問題を検証して、迅速で的確な回答が行えるようにする」、あるいは「電話で解決

できない状況の場合、すぐに駆けつけることができるスタッフを手配するなど、よりきめの細かいサービスを提供できる体制づくりの強化も行いました。



FAQページ

詳細は当社Webサイトの「サポート」に掲載しています。  
<http://www.riso.co.jp/faq/>



## 働きがいのある職場環境をめざして

### 仕事と育児の両立を支援しています

理想科学は2011年に厚生労働省東京労働局から「子育てサポート企業」として認定を受け、くみんマークを取得し、2013年度も引き続き、基準適合一般事業主認定企業として認定されました。

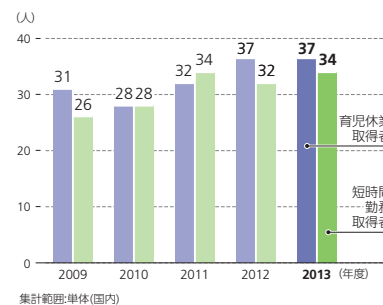


社内制度では、「育児休業制度」を設け、女性・男性社員ともに活用できる環境を整備しています。そして3歳未満の子を持つ社員は、勤務時間や開始時刻を変更できる「短時間勤務制度」を利用することができ

ます。2013年度の育児休業制度の利用者は、37名(うち男性3名)で延べ3,172日取得しています。短時間勤務制度については、34名の社員が利用しています。

また、育児休業制度利用者の復職支援策として、セミナーを開催しています。2014年3月に行われたセミナーでは、復職予定者たちが、育児休業からの復職を経験した先輩社員たちから、「仕事と育児の両立のポイント」「復職後の生活スタイル」などについてアドバイスを受けました。

#### ■ 育児休業／短時間勤務取得者



復職支援セミナーの様子

### キャリアアップ研修で女性の活躍を促進しています

2011年から「女性社員キャリアデザイン研修」を実施し、女性社員の活躍を支援しています。2013年は、「女性キャリア研修」を開催し、24名が「モチベーションの高め方」「リーダーシップスタイルの習得」「環境変化のなかでの自身の未来像の見つけ方」などをテーマとしたプログラムを受講しました。今後も、活動のレベルアップを図っていきます。



女性キャリア研修の様子



近隣住民の信頼に応えて

霞ヶ浦・筑波工場が「危険物安全優良事業所」として表彰されました

2013年10月25日に霞ヶ浦工場、筑波工場が法令に定められた危険物の管理、取り扱いに優れた危険物安全優良事業所として表彰されました。霞ヶ浦工場は、公益社団法人茨城県危険物安全協会連合会長

表彰、筑波工場は、阿見町危険物安全協会長表彰を受けました。これからも危険物災害を防止し、社会公共の安全確保に取り組んでいきます。



表彰式の様子



地域社会の一員として

印刷をテーマに環境教育に協力しています

2004年度から神奈川県川崎市立枳形中学校の環境教育プログラムに協力しています。2013年も11月29日に開催された「エネルギー環境教育」ワークショップに参加し、出張授業を行いました。

このワークショップは、生徒たちの地球環境への意識を高めることを目的に、企業や団体から講師を招き、省エネや環境問題に関する講義や体験学習を

行うものです。当社の出張授業では、ガリ版による環境新聞づくりやリソグラフ印刷の実演を通して、印刷の歴史や、環境に配慮した印刷を実体験してもらうことができました。



枳形中学校での出張授業

さまざまな社会貢献活動を実施しています

●災害支援

2013年11月8日にフィリピンで発生した台風30号の被害者救済活動を支援するため、日本赤十字社を通じて100万円の救援金を寄付しました。

●近隣清掃

2013年4月26日に行われた「しずやの日」の渋谷区一斉清掃において渋谷支店のメンバー5名が渋谷駅周辺で清掃活動を行いました。このイベントは、1998年に渋谷区が制定した「きれいな

まち渋谷をみんなでつくる条例」に基づき、区民・事業者・区が一体となって一斉清掃に取り組むもので、渋谷支店は2010年から参加しています。

●エコキャップ運動

ペットボトル飲料のキャップを回収して、その収益を途上国の子どもたちのためのワクチン代として役立てるエコキャップ運動に参加しています。

2013年度は当社製品の回収・再資源化の既存ルートを活用し、関連業者の協力を得て集めたキャップの回収を開始しました。



「しずやの日」の地域清掃活動



エコキャップ回収



海外での取り組み 2013

世界の各地で、地域に根ざした活動を実践

事業の特徴を活かしながら、また各地のニーズをとらえながら、教育・文化の向上、環境保全に貢献する活動に積極的に取り組んでいます。



フランス

- RISO FRANCE -

フランス選手権ディビジョン2「SMVハンドボールクラブ」をサポートする形で、地域のスポーツの発展に参画しています。その他の各種スポーツでも、当社製品の利点を活かし、業務に使う資料からニュースレター、イベント告知ツールなど、イベント運営に必要な印刷物に幅広く使われています。



中国

- 理想工業（深圳）-

深圳工場では発生する段ボールの分別回収にも力を入れています。中国で生産を開始した13年前から段ボールを資源として扱い、協力業者によってリサイクルされ有効に活用されています。



韓国

- RISO KOREA -

観光地や文化財など、人が多く集まる場所を清掃する「グリーンキャンペーン」を実施しています。2013年6月には、多くの市民の憩いの場となっている京畿道の南漢山城の清掃を行いました。



(주)리소코리아 지구청정활동



南アフリカ

- RISO AFRICA -

電力インフラが不十分な地域において、太陽光で動くリソーラーシステムを提供。省電力で動く理想科学の印刷機とコンパクトなソーラーパネル蓄電システムを組み合わせることで、電源の確保が困難な地域でも、印刷を可能にしています。



タイ

- RISO (Thailand) -

使用済みインクボトルを回収・リサイクルしてつくった椅子を経済的に恵まれない地域の学校へ寄贈してきました。2009年からはリサイクルした植木鉢も寄贈しています。



アメリカ・イギリス・タイ

海外でのサービス強化をめざして、アメリカ・イギリス・タイの子会社にトレーニングセンターを設置。現地スタッフにより、海外グループ会社や販売代理店の技術や営業のスキルアップのための研修プログラムを実施しています。



## 社会から認められ信頼される、健全な企業運営をめざす

企業としての社会的な責任を果たしながら、発展していく基盤となる経営体制の継続的な改善・強化に努めています。

### コーポレートガバナンス/コンプライアンス/リスクマネジメント

Web 詳細は当社Webサイトの「理想科学について/マネジメント」に掲載しています。  
<http://www.riso.co.jp/company/management/>

#### インターナショナル経営の中核としてコーポレート本部を発足

平成26年3月期から進める五次中期経営計画(RISO Vision 16)において最重要課題に位置づける「海外事業の拡大」を推進するために、コーポレート本部を発足しました。

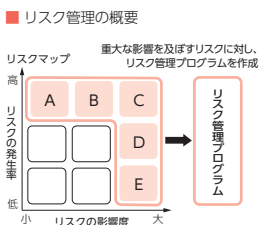
コーポレート本部を核として、グローバルな視点で横断的に連携しグループ業務の最適化を図り、環境変化に対応しながら成長していく組織基盤の強化をめざします。

#### 「リスク・コンプライアンス委員会」を核に体制強化を推進

当社はコンプライアンスを企業経営の基本とし、法令や社内規程の遵守とともに社会倫理や道徳を尊重し、社会の一員であることを自覚した事業活動を行うように努めています。

担当役員に直結した「リスク・コンプライアンス委員会」を設置し、コンプライアンス教育やリスクマネジメントの継続的な改善・強化に取り組んでいます。また、委員会は、通報者のプライバシーが守られるよう配慮しながら、社員からの相談・報告

に対応する内部通報ホットラインの運営など、コンプライアンスやハラスメント対策の実効性を担う役割も果たしています。



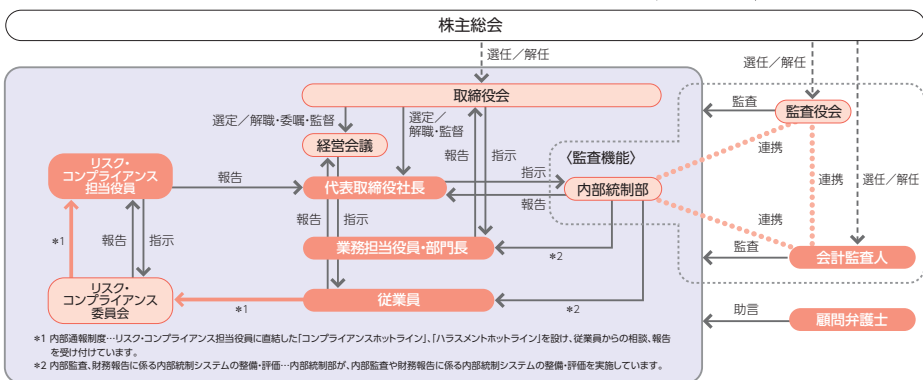
#### 事業活動を守る情報リスクへの対策

事業活動に重大な影響を及ぼすリスクのひとつに、情報リスクがあります。当社グループが保有する機密情報や個人情報などが破壊・改ざんされ、また外部に漏洩すれば、当社グループ

および関係者の方々に大きな損失をもたらします。こうしたリスクに備えて、「情報管理委員会」を設置し、情報セキュリティに関するリスクの低減に取り組んでいます。

#### ■ コーポレートガバナンス体制図

当社における会社の機関・内部統制時の関係(---は選任・委嘱、→は指示・報告・監査等を意味する)



## 環境経営のマネジメントサイクルをまわす

理想科学は、環境管理の組織体制、制度を整備し、環境目的・環境目標を設定して継続的な活動に取り組んでいます。

### 法規制の遵守

2013年度の当社の法規制および法規類の監視・測定・遵守評価の結果、全て遵守していることを確認しました。行政機関

から罰金や行政指導は受けておらず、近隣からの環境に関する苦情も受けていません。

Web 詳細は当社Webサイトの「環境への取り組み/環境マネジメント体制」に掲載しています。  
<http://www.riso.co.jp/eco/management/system/>

### 2015年度 全社環境目的 (中期目標)

Web 詳細は当社Webサイトの「データブック」に掲載しています。  
<http://www.riso.co.jp/eco/report/>

#### ■ エネルギー使用量 (原油換算) の削減 (2005年度比)

国内全体 (理想科学単体のみ) で

- ▶ エネルギー使用量を23%削減する
- ▶ エネルギー使用量売上高原単位を30%改善する

#### ■ CO<sub>2</sub>排出量の削減 (2005年度比)

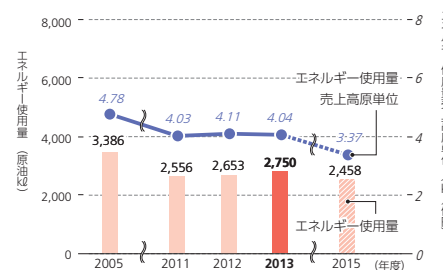
国内全体で

- ▶ CO<sub>2</sub>排出量を15%削減する
- ▶ CO<sub>2</sub>排出量売上高原単位を20%改善する

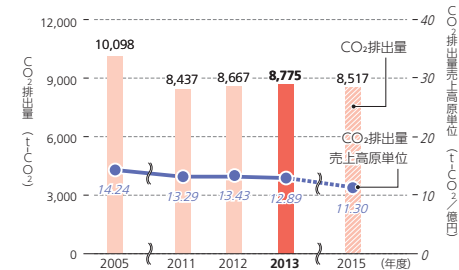
国内生産事業所合計で

- ▶ CO<sub>2</sub>排出量を28%削減する
- ▶ CO<sub>2</sub>排出量総製造原価原単位を30%改善する

#### ● 全社 (国内) エネルギー使用量および売上高原単位の推移



#### ● 全社 (国内) CO<sub>2</sub>排出量および売上高原単位の推移



#### 2013年度の実績状況

2013年度も2011年度の東日本大震災による電力供給逼迫をうけて、省電力に重点をおいた取り組みを継続しました。空調機や照明をエネルギー効率の高い設備へ更新し、屋根の遮熱塗装を行うなど積極的な投資を行い効果をあげました。

また、2013年6月に新たな開発拠点として理想開発センターを開所しました。延床面積の拡大や開発設備の増強などにより

電力使用量が増加したため、全社 (国内) のエネルギー使用量・CO<sub>2</sub>排出量が前年比1%増加しましたが、売上が好調だったことから、2012年度と比較するとエネルギー使用量売上高原単位で2%、CO<sub>2</sub>排出量売上高原単位で4%改善しました。今後もさらに環境負荷の低減に向けて活動していきます。

# Webサイト掲載情報について

理想科学は、環境経営、事業活動に関するより詳しい情報をWebサイトから提供しています。

## 環境経営報告書

<http://www.riso.co.jp/eco/report/>



### ● 環境経営報告書(本書)

本冊子をPDF電子データ、電子ブックでも掲載しています。



### ● 環境経営報告書(データブック)

- > 環境関連データ
- > 環境会計
- > 主要事業所の環境データ
- > 社会関連データ
- > 環境報告ガイド対照表

## 理想科学ホームページ

<http://www.riso.co.jp/>

製品情報その他、理想科学からのお知らせなど最新情報を提供しています。



### ● 理想科学について

<http://www.riso.co.jp/company/>

- > ごあいさつ
- > 会社概要
- > マネジメント
- > 事業拠点一覧
- > あゆみ
- > ものづくり



### ● 環境への取り組み

<http://www.riso.co.jp/eco/>

- > 環境保全のための理想科学の基本方針
- > 環境保全に向けた取り組みと実績
- > 製品の環境対応
- > 環境経営報告書



### ● 社会とのかかわり

<http://www.riso.co.jp/company/employee/>

- > お客様とのかかわり
- > サプライヤーとのかかわり
- > 株主・投資家とのかかわり
- > 地域社会とのかかわり
- > 社員とのかかわり



### ● 株主・投資家情報

<http://www.riso.co.jp/ir/>

- > 経営方針
- > IRライブラリ
- > IRイベントスケジュール
- > 業績の推移
- > 株式情報
- > 電子公告

## その他の情報開示・コミュニケーションツール



### ● 会社案内

<http://www.riso.co.jp/company/corp/>



### ● 株主通信

<http://www.riso.co.jp/c/ir/library/jigyo/>

### ● コーポレートガバナンス報告書

<http://www.riso.co.jp/c/ir/management/governance.pdf>

### ● 決算短信

<http://www.riso.co.jp/c/ir/library/kessan/>

### ● 有価証券報告書・内部統制報告書

<http://www.riso.co.jp/c/ir/library/securities/>

## コミュニケーションをテーマにさまざまな情報をお届けしています。



### ● 広報誌「理想の詩」

<http://www.riso.co.jp/uta/>

広報誌の購読について  
Webサイトの申し込みフォームまたは、ハガキで受け付けています。

# 第三者審査報告書

理想科学は報告書の信頼性および客観性を高めるために、

報告内容について第三者からご意見をいただき、そのご意見を報告書の制作に映しています。

本年度も昨年までと同様に、テュフ・ラインランド・ジャパン株式会社による第三者検証審査を受けました。

今後も、報告内容の正確さ、わかりやすさを追求するとともに、開示情報の充実に努めていきます。

## 「理想科学工業 環境経営報告書 2014」第三者審査報告書



理想科学工業 株式会社  
代表取締役社長 羽山 明 殿

2014年7月7日  
テュフ・ラインランド・ジャパン 株式会社  
代表取締役社長 ホルガー・クンツ

1. 審査の範囲及び目的並びに対象、審査の手続き、結論  
テュフ・ラインランド・ジャパン 株式会社 (以下当審査機関という)は、理想科学工業 株式会社(以下、組織と言う)が作成した「理想科学工業 環境経営報告書2014」及び「WEB掲載の環境データ」に関して、

- 環境報告及び環境パフォーマンス、環境会計に関する情報にて、算出、集計方法の合理性と数値の信頼性及び、記載内容の妥当性
- 環境報告にて、重要な情報が洩れなく開示されているか

について、独立した第三者機関の立場から審査を行いました。審査目的は、その結果を報告し結論を述べることです。なお、審査基準として、環境省 環境報告ガイドライン及び環境報告書作成基準、GRIガイドライン、を参考としていますが、ガイドラインへの準拠性を認めるものではありません。

審査手続きを計画通りに実施し、審査の過程で要求した是正処置が適切に実施されることを約束された結果、当審査機関は、「理想科学工業 環境経営報告書2014」及び「WEB掲載の環境データ」が、一般に公正妥当と認められる環境報告書作成ガイドラインの一般的報告原則に照らして、正確に数値算出されていると結論致します。

## 2. 審査総評

本年版において「重要性がある情報」としてフォーカスを当てた「オフィスの省エネ大賞受賞とその背景」「リソグラフのリユース機に関する取り組みの詳解」「ゴッコプロにおける環境配慮」というテーマを冊子による開示の中心に据えたことを評価します。本年版のように報告対象年度に着目した重要で多くの読者に理解してもらいたい項目を冊子上に掲載するという開示の構造を維持し、詳細な環境データや過去から継続的に取り組んでいる項目の紹介などをWEB掲載情報としてアーカイブしていくこととリンクさせ、より多くの読者が組織をより深く理解できるように利用価値のある重層的な開示構造に発展させていくことを期待します。

## 環境関連

環境経営報告書の読者にとっての重大な関心事は、一つには環境配慮型製品を世の中に提供してより一層の貢献をする姿勢を読み取れるかどうか、そして二つ目は製造過程

等における環境負荷をできるだけ軽減する努力をしてどのような成果を挙げているかでしょう。第三者審査をするにあたってこうした観点からの検証を実施しました。

まずORPHIS EXシリーズが平成25年度省エネ大賞を受賞したこと及び環境配慮型製品に関する特集が従来に増して充実していることは組織の環境経営が充実したものと評価します。引き続き印刷機メーカーとして製品を通して社会環境に貢献する姿勢を賞されることを期待します。

つぎに、環境負荷低減については各種成果を達成していることを確認するとともにそのデータの信頼性を検証しました。データ集計プロセスを継続的に改善していること及び一部修正を要したものの信頼できる報告書に仕上がったことを評価します。今後一層のプロセス改善の余地があることを確認し合ったことで次のステップアップを期待しています。

## 社会的な取り組み関連

組織が海外展開を進めて行く過程で現地販売子会社や現地生産拠点、協力してもらった流通網、などを整備する際には、品質-環境マネジメントのみならず、地域の慣習を理解した地域貢献、人材育成、労働慣行、人権に配慮した対応、などを考慮する必要があり、現地に根ざした取り組みとその情報開示がより一層求められます。

加えて、本年版で取り扱った環境配慮型製品のようにユーザーによる使用を通じて出荷先の地域社会に貢献することができる製品があるので海外地域における有益な取り組みが強化されることを期待します。

## 環境会計関連 その他

環境会計情報の集計プロセスを有効に維持し、環境経営の継続的な改善に有益な影響を与えることを引き続き期待しています。より有効性を増すには現状で行われている環境に配慮した設備投資などのコスト把握と分析を余すことなく行うだけでは不十分です。設備の稼働や生産活動に伴うエネルギー-資源の節約効果などの経済効果をより広範に把握すること、環境配慮型製品がユーザーによる使用時点でどのような環境負荷低減効果とコスト削減・効率化などの経済効果をもたらして両立するか、など環境会計の原理を応用した関連情報は国内外の主要なガイドラインでも奨励され始めています。組織の実情や社会的な期待を勘案した製品ラインナップに応じた取り組みに期待します。

以上

審査報告書全文は、Webサイト上に掲載しています。